



広報 ほうじょう

町の人口
(昭和54年5月30日現在)

前月比較	
男	3,884 (-7)
女	4,125 (-7)
計	8,009 (-14)
世帯数	2,367 (-1)



九州日立マクセルKK構内での作業状況

あなたの御協力を 期待しています

高齢者事業団は仕事を求めています。

本年六月「方城町高齢者事業団」が発足いたしました。

事業団には、働く意志と能力をもった健康な高齢者があつまっています。

私たちは、高齢ではありませんが、まだ十分に働くことができます。

労働に参加することにより、自らの経済的、社会的地位の向上と何よりも、もっと社会のためお役に立ちたいと、考えています。

そのために高齢者事業団は、高齢者がその能力を充分発揮できる仕事を、もっています。

高齢者事業団は次のような仕事をいたします。

- ◎清掃、環境衛生整備、草刈および緑化の作業。施設の管理、警備および巡視などの作業。
- 事業団は、集団方式による作業形態を基本としながら、高齢者の能力に応じた労働分配を、おこなっています。
- 私たちは、真面目に働き、正確に仕事をしあげています。

必ずあなたの期待におこたえすることができると、確信しています。

公共団体、民間企業、個人のみならず是非、仕事をいただき、みんなの力で方城町高齢者事業団を育てていただきたいと思ひます。あなたの御理解と御協力を、お願いいたします。

連絡先

方城町高齢者事業団

方城町役場建設課内

TEL ②〇五二〇

昭和五十四年六月

方城町高齢者事業団

七月のこよみ

- 1日 国民安全の日
海、山びらき
- 2日 半夏生
- 7日 小暑
七夕祭
- 11日 小倉祇園太鼓
- 19日 土用
- 20日 海の記念日
- 23日 大暑
- 24日 土用の丑

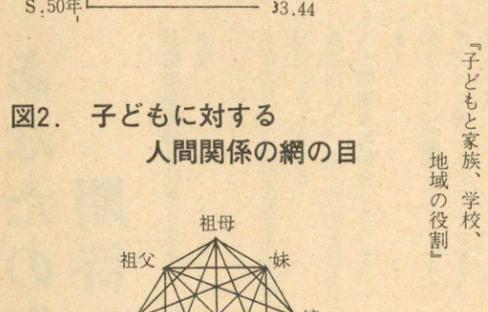
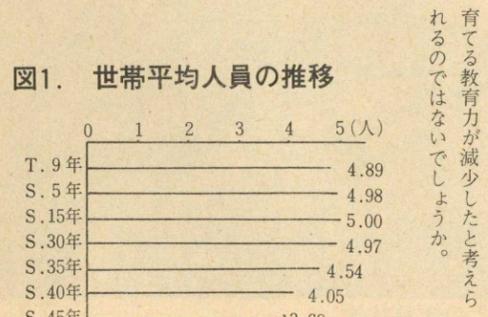
★ ★ ★

愛の手で築く非行のない社会

社会を明るくする運動について、
 運動期間 七月一日～三十一日
 法務省主催による第二十九回「社会を明るくする運動」は、地域活動の推進による青少年の非行防止を重点目標に、七月一日から一ヶ月間全国一斉に展開されます。
 この運動は、すべての国民が犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。
 最近における青少年の非行は、

家庭における教育環境の変化とつけ

一、家族の大きさや構成上の変化。
 図1は、総理府統計局国勢調査の結果であるが、高度経済成長政策にもなう労働力の移動(特に若者)により、家族の平均人員が減少している。このことは「直系家族」形態から「核家族」形態(両親と子)になっていることを示している。両親の世代では四・五人兄弟は普通であったが、現在の小学生たちの兄弟は二人が多く、ひとりっ子も少なくない。当然、子どもを育てる教育力が減少する結果になる。
 二、子どもに対する人間関係。



資料
 西日本新聞社刊
 『子どもと家族、学校、地域の役割』
 (つづく)

もに、家庭の教育的機能の低下、あるいは学校、職場及び地域社会における人間関係の希薄化等に基づくところが少なくないと思われ
 このような状況に対処するためには、関係者の努力は当然のことであり、青少年を取り巻く人々、特に地域住民が共に手を携えて幅広い地域活動を展開していく必要があります。
 こういった観点から今回の運動はその重点目標を「地域活動の推進による青少年の非行防止」とし、地域住民の諸活動を「層強力で推進することによって、青少年の非行の防止と非行に陥った者の更生で、そこに何が残ったのだろうか。家庭における人間関係が減少したというところは、また、子どもを育てる教育力が減少したと考えられるのではないだろうか。
 を図ろうとするものであります。福岡県においても社会を明るくする運動福岡県実施委員会(委員長、福岡県知事)を結成し、この運動の所期の目的が達成されるようさまざまな行事が企画されています。
 たとえば、運動期間中県内各地で開催される公開ケース研究会では、青少年の非行事例をとりあげ、一般地域住民参加の下に、非行の原因、非行防止の方策等の研究を行うことにしています。
 また、青少年の健全育成と非行防止のために地域の方々が集まり、子どもの躾や家庭教育のあり方、地域環境の浄化などについて話し合う非行防止ミニ集会も計画されています。
 高、田川郡の各市町村におきましても左の諸行事を行うことになっておりますので町民各位の御協力と御参加をお願いいたします。
杜明運動行事
 一、七月一日 方城中学生徒によるプラスチックバンド行進(町内)
 二、七月十二日 非行に悩んでいる家庭の人々の相談日(午前十時～午後三時方城町中央公民館に於て)
 三、七月二十五日午後一時 講演と映画(方城町体育館に於て)
 四、七月二十五日午後一時 ポスター展(方城、金田、赤池小中学生徒による作品展、方城町体育館)
 (方城町保護司会、中央公民館 福祉課)

「失業対策制度事業の再確立に関する」合意書

失業発生の原因
 一、産炭地田川は、国のエネルギー政策により地域ぐるみ大きな打撃を受けた。失業者は多発しその後のオイルショック、経済不況のなかで、地域社会ぐるみの貧困化はますます激化の一途を辿っている。
 我々は「失業者はなぜ発生するのか」、「失業救済の責任は誰れが負うべきか」について究明した。少なくとも、地方自治体はその責任のすべてを負わすべきではないと考える。
社会問題としての失業の位置づけ
 一、人は誰れでも「労働の権利と義務」をもっている。今日の社会進歩は、すべて労働によってもたらされた。
 失業問題は、ただたんに経済的な視点からだけではなく社会問題として把握すべきである。
 やむなく発生した失業問題に対しては、有期的な失業の手当制度だけでなく事業制度等の方法も追究されなければならない。
現行制度事業のはたした役割
 一、現行の失業対策諸制度事業はあいつぐ炭坑の閉山にもなう量的に増加の傾向にあるばかりでなく、質的にも複雑多様となり、特に中流以上の家庭に属する少年、あるいは低年齢層の少年、更には女子少年による非行の増加が目立ち、またその形態として遊興的、享乐的な動機による万引、自転車、オートバイ等の乗り物の盗み、薬物乱用及び学校内における集団暴力等の非行が多発するなど事態は極めて憂慮すべき状況にあると言えます。
 こうした状況は、最近の遊興的、享乐的な社会風潮を反映するものと

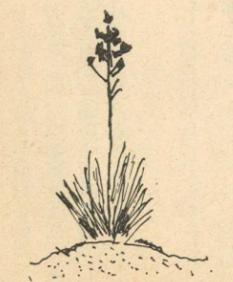
社会的な混乱のなかで産業基盤の整備、環境整備等一定の役割りを果たしてきた。
 飢餓賃金だと言われながらも、人々は生命を保ち、最低生活にあえぎながらもそれなりの社会的な秩序は守られてきた。
現行制度事業の問題点
 一、現行の失業対策諸制度事業が「滞留」・「適正規模」・「事業効果(種目の選定)」・「最低生活保障」などの諸点で多くの弱点を持っていることも事実である。
 我々はこれらの問題点を克服すべく今日まで真剣に取組んできたし、それは必ず克服できると確信している。
制度事業の再確立
 一、現在のしくみのなかでは、我々は失業問題をさけておることとはできない。又現在の雇用失業情勢は、失業対策制度事業の再確立を求めている。失業者の体力、能力を保全培養し社会的に役立てることは絶対必要である。
新しい制度事業の望ましい姿
 一、新しい失業対策制度事業については次の諸点が考慮されなければならない。

一、「滞留」など現行失業対策諸制度事業もっている弱点の克服。
 二、新しい街づくり、国づくり政策との正しい結合。
 三、地域住民の生活を守りぬく立場から、地方自治体は、財政力に即応した適正枠については、消化するけれども、それ以上の失業者の発生については、国の責任で対処すること。
田川地域の特殊性
 一、産炭地田川では、国のエネルギー政策との関係で特別な事情が存在している。炭坑閉山の嵐は地域社会を荒廃させたばかりでなく人々の心をも無惨にふみにじった。
 失業と貧困の渦巻くなかで、傷あとの痛みにたえながら、それでも田川の住民は生きる希望をすてていないばかりか、より積極的に新しい街づくりに参加したいと熱望している。
 新しい失業対策制度事業とは別

町民のみなさん

私したち全日自労田川分会(失業対策制度事業就労者団体)と、田川十ヶ市町村の首長は「失業対策制度事業の再確立」について左記のような点で合意しました。
 私したちは、雇用失業問題の現状から見てこれは、私したちや市

町村長だけの問題ではなく、住民全体の「くらしと福祉」にかかわる重要な問題であるとかんがえます。
 それは今日全町民的事業として失業対策制度事業に勝る事業は他にないからであります。



全日自労田川分会
 方城自治体部長
 武田 次子

五一年度の四事業(一般失対・緊就・開就・特開)の総事業費が五億六千万円(国庫補助三億七千万円・町負担一億九千万円)で町財政の一九・六〇%です。
 また失対四事業の年間吸収人員は六六・三九人で一日二四〇人(一ヶ月二十三万就労したとして)の人達が就労しています。
 町内企業で二四〇人も従業員をかかえているところはありませんが、もし失対四事業がつぶされることになつたら就労者はもちろん業者も商店も町民(道路団地造成上下水道等仕事がなく)も困ることになります。
 私したちはいくつかの欠陥や不十分を卒直に認め克服に努力しています。
 町民のみなさんには意見や要求をどしどし出していただき、町民に役だつものにしりたいと思っております。
 みなさんの一層の御支援をおねがい申しあげます。

私の歩いて来た道 (第7回)

末松 栄

高津のおじさんは酒好きでしたので、時々、山を越えて採銅所まで酒買いにいって、おばさんの目を盗む様にして湯呑みで一杯やっていた。おばさんは、私の母と同郷の勾金村呉の人で、里方は中位の生活の出来る家の生れでしたので割合、食物には甘い方だったので一度は必ず小豆餅を作って食べさせてくれました。私は、丁度食べ盛りだったので、其の餅を一度に10ヶ位食べたものでした。そんな時おじさんは私に「10ヶ食べると悪いからもう一つ食いなさい」と云って笑わせてくれました。

高津家には、キヌちゃん6年生、重太郎ちゃん3年生の2人の子供がおつて、秋から冬になると日が短くなるので、私は学校の帰りが遅い時は迎へに行かねばなりません。又私の方の家庭とは、とうてい及びも付かぬ暮し向きでした。それは食べる物から着る物又精神的に私を奉公人だといった、一寸見下げた様な態度が時折見受けられました。其んな時私は「よし今に見ておれ自分が大人になったら一生懸命に働いて、こちらの子供を雇う様な生活の出来る家を

単位会長一泊研究会

荒川 豊 八

去る5月26日、単位会長で東洋館において一泊研究会を行いました。午前10時中央公民館前をマイクパスで出発、車中話しをする間もなく浮羽郡吉井町東洋館へ到着。各自指定の室に手廻り品を置き、早速ひと風呂及び大広間へ集合、互の健康を喜び合いました。本年度の運営と親睦を如何に進めて行くか提案したところ歩き、午前10時旅館を後に田主丸の玉山

運動、又はゲートボールの練習など活発な意見がでました。引き続き夜の宴会となり、皆さんの美声やかくし芸が出て和気あいあいの内に終り、夜の窓からの素晴らしい眺め、筑後川ウガイ船や、又原鶴温泉旅館の夜景に見えながら昔話しや世間話して夜の更けるのを忘れ語りあいました。翌朝は、午前10時旅館を後に田主丸の玉山

築き上げてやる」と心の底に誓ったものでした。忘れもしない大正三年十二月十五日、私は扱摺の御手伝をして居りましたら、突然大きな音がして地響がした様な感じがしました。夕方になったら、それは方城炭坑の坑内ガスの大爆発であったとの事で、大変な騒ぎになりました。なにぶん六百数十人の尊い犠牲者を出した一大惨事でありましたから、それは炭坑災害として、一時にこんな多くの人命を失ったのは初めての事との噂でした。中原でも三人の犠牲者が出ました。爆発があつて、四、五日目に現場を見に行きましたら、皮膚がはがれる様に水ぶくれになつた人が長い棺に安置されて、遺族の方が泣き悲しんで居るのが特に印象に上り、樹木や庭園を見て帰り秋月城跡を見学し、大隈越にて帰る実のある研修見学でした。



県老人クラブ会長より 表彰おめでとう

永末義雄さん

去る5月30日福岡県老人クラブ連合会十三周年記念式典に於て上井城永末義雄さんが県老人会長より老人クラブ活動に献身的に努力され発展向上の功績にたいして表彰を受けました。

暮らしを支える 石油

エネルギーを大切に

わたしたちは、日常の生活でいっただい、どれくらいエネルギーを使っているのでしょうか。科学技術庁資源調査所がまとめた「ライフサイクル・エネルギー」に関する調査研究」による試算では、家庭生活を営む上で、日本人一人一日当たり、牛乳びん約十七本の石油を使っている勘定になります。

使われた間接エネルギーも含めて石油に換算したもので、親子四人の標準世帯では、牛乳びん約六十八本分に相当します。これをもとに、全国民が一年間に使う家庭用エネルギーを計算しますと、石油換算で約一億五千万キロリットルになり、国全体の年間総エネルギー消費量の約四割に相当します。

政府は、IEA(国際エネルギー機関)加盟各国の合意に基づき、約5%の石油消費の節減対策を実施しています。

お知らせ

税務大学校学生募集 (案内)

税務大学校には、国家公務員採用初級試験(税務)の合格者の中から採用された人が、普通科研修生として入校し、給与を受けながら一年間の研修を受け、卒業と同時に税務署に勤務することになります。試験の概要は次のとおりです。

- 願書受付 昭和五十四年七月十一日(外)から七月二十日(金)
- 第一次試験 昭和五十四年九月三十日(日)
教養試験(高校卒業程度) 適正試験(作文程度) 適正試験及び作文試験
- 第二次試験 昭和五十四年十一月月中旬から十二月十日(金)
- 採用予定人員 九州で約一九〇名
- 入校研修所(1) 税務大学校(予定) 熊本研修所 (2) 税務大学校 東京研修所 (3) 税務大学校

- 二日から昭和三十一年四月一日まで生れた男子。
- 願書受付 昭和五十四年七月十一日(外)から七月二十日(金)
- 第一次試験 昭和五十四年九月三十日(日)
教養試験(高校卒業程度) 適正試験(作文程度) 適正試験及び作文試験
- 第二次試験 昭和五十四年十一月月中旬から十二月十日(金)
- 採用予定人員 九州で約一九〇名
- 入校研修所(1) 税務大学校(予定) 熊本研修所 (2) 税務大学校 東京研修所 (3) 税務大学校

- 大阪研修所 人事院九州事務局(TEL〇九二一四三二一七七三三)
- 福岡国税局(TEL〇九二一四三二一〇〇三)
- 田川税務署(TEL〇九四七四一四一〇四三〇)
- 願書提出先 人事院九州事務局(TEL〇九二一四三二一七七三三)
- 局(福岡市博多区博多駅東二丁目十一番一福岡合同庁舎内)
- お問合せ先 人事院九州事務局(TEL〇九二一四三二一七七三三)
- 福岡国税局(TEL〇九二一四三二一〇〇三)
- 田川税務署(TEL〇九四七四一四一〇四三〇)

無縁墳墓の改葬について

- 一、墓地の所在地 熊本県玉名郡長洲町大字長洲字新山八二一
- 二、墓地の名称 長洲新山墓地
- 三、改葬の理由 環境整備のため
- 四、改葬先 熊本県玉名郡長洲町大字長洲字上五丁目一三九〇の一
- 五、届出先 熊本県玉名郡長洲町役場企画

- 六、届出期限 昭和五十四年七月三十一日
- 七、無縁墳墓数 九九一基(約一二五〇体) 内無縁墳墓七六八基(約八九七体)
- 八、広聴課(電話 〇九六八七) 八三一一一、内線四二二) 担当 村井
- 九、届出期間 昭和五十四年七月三十一日
- 十、無縁墳墓数 九九一基(約一二五〇体) 内無縁墳墓七六八基(約八九七体)
- 十一、国語、数学、社会、作文及び面接。
- 十二、初任給 八五、八〇〇円(衣食住等、実質十二四、〇〇〇円)
- 十三、採用時期 合格順に逐次採用します。
- 十四、問い合わせ先 役場総務課又は福岡地方連絡部飯塚出張所 (飯塚市横田②四八四七)

昭和五十四年度 自衛隊航空学生 自衛隊一般曹候補学生募集

- 一、願書受付 八月一日～九月二十六日
- 二、採用人員 航空学生 七十六名 海上要員 六〇名 一般曹候補学生 七十六名
- 三、採用時期 合格順に逐次採用します。
- 四、問い合わせ先 役場総務課又は福岡地方連絡部飯塚出張所 (飯塚市横田②四八四七)

筑豊地区 第二次一般自衛官募集

- 一、採用人員 陸上五名、海上二名、航空三名
- 二、募集の時期 七月一日～九月二十日まで
- 三、試験科目 国語、数学、社会、作文及び面接。
- 四、初任給 八五、八〇〇円(衣食住等、実質十二四、〇〇〇円)
- 五、採用時期 合格順に逐次採用します。
- 六、問い合わせ先 役場総務課又は福岡地方連絡部飯塚出張所 (飯塚市横田②四八四七)

- 七、届出先 熊本県玉名郡長洲町役場企画
- 八、広聴課(電話 〇九六八七) 八三一一一、内線四二二) 担当 村井
- 九、届出期間 昭和五十四年七月三十一日
- 十、無縁墳墓数 九九一基(約一二五〇体) 内無縁墳墓七六八基(約八九七体)
- 十一、国語、数学、社会、作文及び面接。
- 十二、初任給 八五、八〇〇円(衣食住等、実質十二四、〇〇〇円)
- 十三、採用時期 合格順に逐次採用します。
- 十四、問い合わせ先 役場総務課又は福岡地方連絡部飯塚出張所 (飯塚市横田②四八四七)

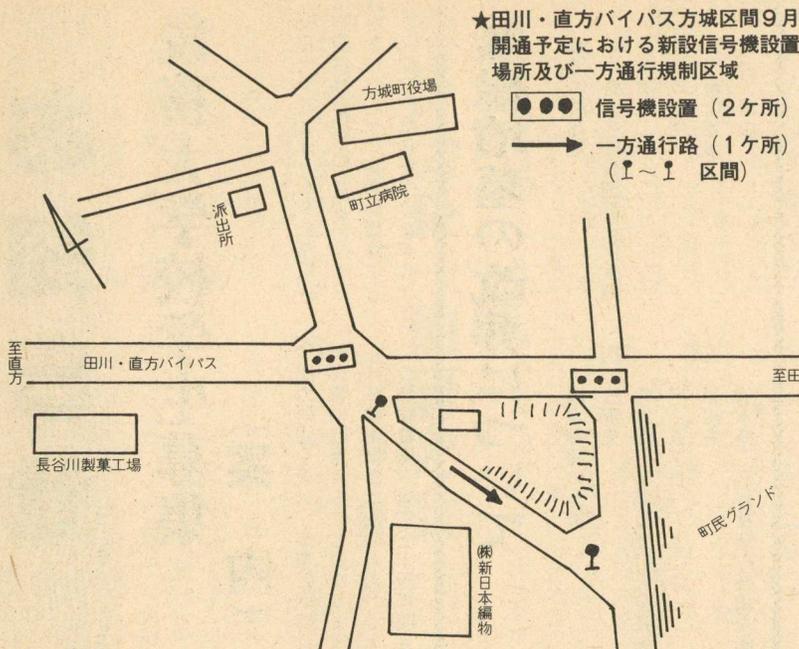
- 一、願書受付 八月一日～九月二十六日
- 二、採用人員 航空学生 七十六名 海上要員 六〇名 一般曹候補学生 七十六名
- 三、採用時期 合格順に逐次採用します。
- 四、問い合わせ先 役場総務課又は福岡地方連絡部飯塚出張所 (飯塚市横田②四八四七)

- 一、願書提出 十月二十日(二次予定)
- 二、採用人員 航空学生 七十六名 海上要員 六〇名 一般曹候補学生 七十六名
- 三、採用時期 合格順に逐次採用します。
- 四、問い合わせ先 役場総務課又は福岡地方連絡部飯塚出張所 (飯塚市横田②四八四七)

ドライバーの皆さん 新しい交通規制区域 が設定されます。

長い間の懸案であった。県道田川・直方線バイパス方城区間が、いよいよ九月には開通する見込みであり、これに伴い、当然増加するものと思われる交通量に対処する

ため、次のとおり交通規制区域（一方通行一個所、信号機一個所設置）が設定されますのでドライバーの皆さん、交通違反のないよう、安全運転に心がけましょう。



簿記講座について

商業簿記基礎コース
この講座は日常の取引にもとづき記帳等を初心者対象に事例にもとづいて講義する商業簿記の基礎コースです。
○日時
五十四年七月二十五日（予定）～八月末の二十日間午後六時～八時
（期間中原則として土・日は休日とします）
○受講料

方城町史資料編の申込について

昭和四十七年方城町史の続編として刊行しました「方城町史資料」は若干残部がありますので町内在住者に限り一人一冊限り代金千五百円で頒布いたしますので希望者

光化学スモッグの被害にあったら 風通しのよい部屋で安静に

太陽による紫外線の照射量が急激にふえる初夏から真夏にかけて、しばしば光化学スモッグが発生します。晴れ上がった風のない日に多く発生しますが、これまでのデータでは、くもり空の日や夜間にも光化学スモッグによる被害が出ています。注意報が出たら、なるべく外出を避けるのが無難です。

〈応急手当〉

◎涙が出たり、目がチカチカする場合は、水で洗眼するのが一番です。充血がなかなかとれない場合は、医師にみてもらい、指示に

五、〇〇〇円（一名につき）
○申込み切り
七月二十日
○申込書は商工会議所に準備しております。
詳細はお問合せ下さい。
田川市大黒町3番11号
田川商工会議所
電話 田川④3150

香典返し

ありがとうございます。次の方々から方城町長寿会に高額の香典返しを受けましたので長寿会の運営に有意義にたかわせていただきます。

方城町長寿会連合会長

- 一、 迫 稲富 明
- 二、 前村 中島 義章
- 三、 浄万寺 葛原コイシ
- 四、 後谷 池本 正義
- 五、 東区 加治スミ子
- 六、 後谷 勝野 正樹

従いましょう。
◎のどの粘膜が刺激され、せき込んだり、クシャミが出たりする場合は、数回うがいをしてみましよう。
◎息苦しくなってせき込んだり、胸の痛みや、頭痛を訴える場合は、屋内の涼しい場所で衣服をゆるめ、体を楽にして安静にしましょう。
◎ほおやくちびるなどが紫色に

なったときは、一核も早く医師を呼ぶか救急車に連絡しましょう。
◎一見、軽そうに見えても重症の場合があります。症状によく注意し、異常があれば、すぐ医師の指示をおおきましよう。

報
ほうじょう
(107号)

昭和五十四年七月一日発行
発行 方城町役場
編集 企画 画 室
印刷 協和 印刷